

紅型3工房作品を再展開

— 紅型が彩るJTA クラスJ 座席ヘッドレストカバー —

2020年12月17日

第20065号

日本トランスオーシャン航空(JTA、本社 那覇市、社長 青木 紀将)は、2020年1月より4か月毎、沖縄を代表する紅型職人・工房が特別に製作したクラスJ 座席紅型ヘッドレストカバーを展開してまいりました。(注)

この企画は、お客さまに「紅型の魅力を伝えたい」という想いのもと、多くの紅型職人・工房、および一般社団法人 琉球びんがた普及伝承コンソーシアムに協力いただき実現しました。

職人が想いを込めて丁寧に制作した3作品は、「色彩・図柄が印象的で美しい」とお客さまに大変好評であり、2021年1月～3月まで毎月2作品ずつJTA クラスJ 座席ヘッドレストカバーに再展開してまいります。

本格的な紅型の美しさに触れながら、JTAでの空の旅をお楽しみください。

(注)2020年1月1日～4月30日城間びんがた工房、5月1日～8月31日知念紅型研究所、9月1日～12月31日 やふそ紅型工房

■対象路線

JTA運航 全路線 クラスJ 座席

■対象機番、対象期間、作品

機番	毎月 2作品を再展開 ※	
	JA01RK～JA06RK (6機)	JA07RK～JA12RK、JA350J (7機)
2021年1月	海中艶 (かいちゆうえん)	七宝福良雀 (しっぽうふくらずめ)
2021年2月	ブーゲンビリアと手毬幾何学模様 (てまりきかがくもよう)	七宝福良雀 (しっぽうふくらずめ)
2021年3月	ブーゲンビリアと手毬幾何学模様 (てまりきかがくもよう)	海中艶 (かいちゆうえん)

※:機材運用の都合上、変更になる可能性があります

■製作工房、作品名



「海中艶」
城間びんがた工房



「七宝福良雀」
知念紅型研究所



「ブーゲンビリアと手毬幾何学模様」
やふそ紅型工房

以上